

プラナリア入門

中野 真

1 はじめに

プラナリアとは、扁形動物渦虫類三岐腸目プラナリア科、ケンキーマ科、デンドロシラ科の総称であって、現在日本からは約20種が知られている。

私とプラナリアとの最初の出会いは、高校1年生のときだった。川で水生昆虫の調査をしていて、石を裏返したとき、そこに這っていた生物を見て、あーと思った。中学や高校の生物の教科書に再生の実験動物としてでていたプラナリア（ナミウズムシ）だったのだ。それ以来、私はこの1センチ足らずの小さな生物に魅せられて、近くの山を歩き回り、機会あるごとに搜したものだ。

このプラナリアは再生力の強さで知られており、1匹を120片に切り刻んでその全てが再生したという記録も残っているそうだ。実際、再生実験もやってみたが、3片に切った体が20日ほどで完全な3体になった。

淡水産プラナリアは、自然状態では水生昆虫や小動物の死肉を食べて生きている。しかし、飼育の場合には、イトミミズやニワトリのレバーなどを与えるとよい。

2 採集方法

自然採集 野外の川や溪流で石や枯葉の裏を這っているのを、柔らかい毛筆などで採集する。

trap採集 直径約1センチの竹筒におもりの石を結びつけ、それをビニル袋でおおう。袋の中にレバーや肉片を入れる（図1）。これに長いひもを付け、井戸や池に沈める。1~2日後に引き上げて採集する。

これの方法で採集した虫を白い皿の容器に入れ、ルーペで観察して種類を固定する。なお、虫は酸素不足や水の汚染、温度変化、明るい所に非常に弱い。また、虫をあまり採集すると、急速に個体数が減るので、調査後

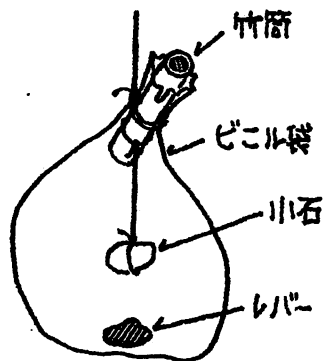


図1 採集用トラップ

不必要な個体はすべて元のところに放流すること。

3 記録

記録カード例

採集地 戸牧川上(図4横) 日付 '78.2.5 地図 No. 4
 時間 1530 水 6.1℃ PH 7.3
 棲息地: 大川, (小川), 溪流, 泉, 池沼, 井戸
 種類と個体数 (10分間調査で a: 1~10, b: 11~50, c: 5 以上)
 ナミウズムシ b (32匹)
 ミヤマウズムシ a (6匹)
 備考:

地図上に採集地を記し、地図No.を記入しておくとい。生殖器官の有無は記録しておいた方がよいが、判定が困難である。

4 種類 (主に但馬に棲息するもの)

ナミウズムシ

日本全国の平地に広く分布 (標高1300~1400メートルくらいまで)。体長10~20ミリでもっと大きな個体もいる。眼は1対。稀に複眼をもつものがある。10~22℃で飼育。再生力は強い(図2)。



図2 ナミウズムシ。
頭部は 鋏三角形状

ミヤマウズムシ

全国の山地や平地の溪泉に分布。体長10~20ミリでほっそりした体形をしている。1対の眼がある。5~15℃で飼育。再生力は強い(図3)。

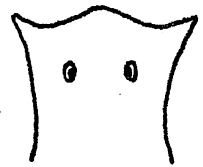


図3 ミヤマウズムシ。
頭部にフの状の触角

コガタウズムシ

中国、四国、近畿の平地の小流や浅い井戸に分布。体長15ミリまで。1対の眼がある。

豊高生物部アブラナリア研が兵庫県ではじめて採集したもので、豊岡市妙楽寺一帯に棲息している(図4)。

デンドロシラ科の1種

豊岡市妙楽寺の古井戸から採集されたもので、生殖器官が採集段階でとれてしまったため、同定不能。体長15ミリくらいで、頭部に吸着器官が認められる。川勝正治博士によると、1新種と考えられるそうである(図5)。



図4 コガタツバキ

5 おわりに

プラナリアとはもろ4年のフキあいになる。

冬の寒い日に、ひょつとしたらこんな変わった種がプラナリアがいるかも知れないなどと思いながら時間を忘れて川の中に入っていたものだった。

一応、この4年間は但馬地方の淡水産プラナリアの分布を調べてきたのだが、その範囲は豊岡市周辺と代表的な山だけに限られている。次号ではこれをまとめて出すつもりだが、読者の方で、こんなところにこんな虫がいたという記録を御存知の方は連絡していただければ、また情報を交換できれば幸いである。



図5 デンドロシラ科の1種

参考文献

- 1) 川勝正治.1973. プラナリアの分類と生態 2. 動物と自然,3(6):11-16.
- 2) 中野真・向原行雄・山崎孝彦.1975. 但馬の淡水産プラナリア. 但馬の生物, 21/22: 78-82.

* 筆者への連絡先は次の通り。
〒359 埼玉県 所沢市